



あすかロータリークラブ

Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長：K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー：中澤 忠嗣

会長：澤 光彦 エレクト：吉川 隆博

副会長：松中 久 幹事：森下 秀城

クラブ会報委員長：富士川拓也

Vol. 25 No. 26 (No. 1173) 2016年1月7日発行

前回のニコニコ
¥125,000

前期会費預かり分
¥855,000

今年度累計
¥1,740,500



ロータリアンの縁(猿)を大切に 於：榎原神宮 撮影者：井上重行

第1173回 2016年1月7日(木)

新年夜間例会

於：榎原観光ホテル

1172 回報告 2015年12月24日(木)

於：榎原ロイヤルホテル

ソング

「我等の生業」

ソングリーダー 住吉 襄一君

ビジター

西光 慎治様

(卓話講師)

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第1172回	56	24	53(23)	2	100
第1170回	56	24	40(16)	3	89.58

ニコニコ

- 米田 昌弘君 家族親睦忘年例会に多数の会員・ご家族の皆様のお席、ありがとうございました。またお誕生日のお祝いありがとうございました。
- 嶋田 英隆君 誕生日のお祝い、喜寿のお祝いありがとうございました。本日の卓話は明日香村教育委員会西光慎治さん、よろしくお祈りします。
- 北岡 忠義君 親睦・R 家族委員長はじめ委員の皆様、大変お世話になりました。また一等賞を戴きありがとうございました。皆様には良い年をお迎えください。

- 野島 誠一君 近年、最高のフランス料理でした。会長はじめ関係者の皆様、ありがとうございました。
- 山本 進章君 忘年会では家内にお祝いの花束と挨拶までさせていただき、本当にありがとうございました。ニコニコをするように指示がありました。ちなみに私のポケットマネーです。
- 和田 修志君 米田委員長はじめ親睦・R 家族委員の皆様には大変お世話になりました。楽しい忘年例会でした。会員の皆様、良いお年を！！

以下同文

猪尾 清君 富士川拓也君

- 井上 重行君 結婚記念の花束ありがとうございました。49年目の結婚記念です。来年は特大の花束お願いします。
- 吉田 勝亮君 結婚の花束ありがとうございました。今年一年お世話になりました。来年もよろしくお祈りします。
- 吉田 格君 誕生日のお祝いの品ありがとうございました。親睦・R 家族委員会の皆様、ご苦労様でした。
- 高田 雅信君 誕生日のプレゼントありがとうございました。大変助かっています。
- 武井 仁思君 誕生日のプレゼントありがとうございました。家族親睦忘年例会で頂いた枕、寝心地が良いです。ありがとうございました。
- 清水 徹君 誕生日のプレゼントありがとうございました。
- 宮本 義人君 会員の皆様、一年間お世話になりました。ありがとうございました。来る年

4つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

も皆様にとりまして良いお年であり
ますようお祈り申し上げます。

以下同文

柳田 弘明君 植田 俊應君

- 松中 久君 会員の皆様、今年一年ありがとうございました。さる年でなく、くる年もよろしくお願い致します。
- 吉田 太三君 今年も元気で 200km 泳ぎました。
- 多根井明則君 今年度、前期は欠席が多くてすみません!!

会長挨拶

○先週の忘年例会には米田親睦・R 家族委員長はじめ親睦委員会の皆様方、大変お世話になりありがとうございました。本年も残すところあと少しとなりました。来年は創立 25 周年記念式典例会が 5 月に開催されます。すばらしい式典になるよう、中西委員長はじめ会員の皆様方の協力をよろしくお願いします。最後に皆様にとって来年も良き年でありますようご祈念申し上げて、本年最後の挨拶とさせていただきます。

幹事報告

- 年末年始事務局のお休み
12月26日(土)～1月5日(火)
- 新年例会について
- 地区 職業奉仕『講演会』参加は 11 名

次回の例会

「知的財産権制度の紹介」

奈良県発明協会

知財アドバイザー 田中 栄一様
事務局長 中根 伸一様

「飛鳥時代を演出した貴婦人たち ～女性天皇と日本国誕生～」



明日香村教育委員会
文学博士
西光 慎治様

古代飛鳥は女性たちが活躍した新しい時代の幕開けでした。飛鳥時代には多くの女性天皇が誕生し、豊かな感性で政が行われ、宗教や文学においても女性たちの活躍を抜きに語ることはできません。なぜ国家が誕生する時に、女性たちの存在・活躍があるのでしょうか。なぜ、古代において女性たちがこのように力強く活躍したのでしょうか。そのヒントは「飛鳥」の地にあります。

日本国で初めての女性天皇になった推古天皇は豊浦宮（明日香村豊浦）で即位し、巫女（シャーマン）的要素を備えつつ、仏教興隆に力を注ぎました。神々が宿る自然を厚く敬いながら、新しい仏教を取り込み、神仏が融合する国づくりをはじめました。そして次の女性天皇である皇極（後の斉明）天皇にもその思いは受け継がれ、八十万の神々が坐す雰囲気が残る奥飛鳥で皇極天皇が雨乞い神事をしたという伝承が残るなど、自然と一体となってその能力が遺憾なく発揮されました。そして斉明天皇として再び即位した頃から飛鳥の本格的な都造りに着手していきます。その都造りの一端が現在、進められている発掘調査で明らかとなってきています。これらの遺跡や風土は 1400 年以上たった現在にも受け継がれています。東アジア情勢が目まぐるしく変化する時代に国のかじ取りを任された斉明天皇は東アジアを舞台に活躍した天皇でもありました。そして、孫の持統天皇は夫の天武天皇と手を携えて斉明天皇の意思を引き継いで新しい国造りに着手していきます。その集大成として都を飛鳥から藤原の地へと遷都を行い、「藤原京」を完成させます。その後、大宝律令が制定され名実ともに「倭国」から「日本国」が誕生することとなります。

このように、飛鳥時代には推古天皇をはじめ皇極天皇、持統天皇といった女性本来がもつシャーマン的な要素と、その内に秘めた力強さが日本国誕生の大きな原動力となりました。そして宮中では貴婦人たちが彩り、『万葉集』にも多くの女性歌人たちの歌が掲載されるなど、古代日本はまさに女性の時代であったといっても過言ではないでしょう。飛鳥時代を演出した貴婦人たちと共に国政を司った女性天皇たちの活躍した証が明日香村をはじめ橿原市・高取町といった地域の礎となっています。こういった彼女たちの足跡が「日本国創生のとき～飛鳥を翔た女性たち～」として平成 27 年 4 月、『日本遺産』に認定されました。